



青柳 賢治 議員

授業時間数、嵐山町の小中学校は

答 標準の年間授業数を上回る見通し

コロナ禍だけで、
予防を徹底して、
前へ進めよう

問 学校再開後の授業時間数の不足やICTの活用は。

答 教育長 埼玉県教育委員会の調査で、今年度末までに補いきれないと想定される授業時間数が約2週間分（約60時間）を超える学校が公立小・中・義務教育委員会の全体の2割程度あることがわかりました。現段階で本町においては夏季休業、冬季休業の短縮や土曜授業の実施を行った結果、文部科学省の定める標準の年間授業時数を上回る授業時数

を確保できる見通しとなっている。

学校におけるICTの活用については、分散授業時において、ズーム等により工夫した授業展開を行っていた。

授業においては感染症の発生以前からタブレットを用いた授業を行っていたが、GIGAスクール構想の「一人一台タブレット」の導入に向けて、12月に「ICT活用推進委員会」による教員研修を開催し、令和3年度から更なる活用の拡大を目指している。

コロナ禍の不安はいつぱい

問 コロナ禍、ひとり暮らしの高齢者に対する支援を聞く。

答 長寿生が課長 高齢者のことは地区の民生委員が一番把握している。今後も民生委員と連携を図りつつ、その方にあった支援を行う。

問 住民意識調査の第6次総合振興計画への反映方法を聞く。

答 地域支援課長 その内容を分析し、できる限り計画に反映させていたきたいと考えている。町が今後推進していく施策を重点プロジェクトとして位置づけ、総合振興計画審議会で検討いただく。



町内3小学校の3年生、オオムラサキ越冬幼虫調査、
本年も元気に活発に実施（志賀小）＝R2.12.8



大野 敏行 議員

農地の除草管理について

答 地域一体型多面的機能で対応している

共助で地域の環境
を守ろうよ！

問 草刈りをする組織の数は。

答 農政課長 土地改良事業完了地区を中心に9地区で実施している。

再問 地域一体型多面的機能組織とは。

再答 農政課長 農業者だけでなく、その地域が一体となって共同で行う活動に対して支援を行っています。

再問 改良区以外での草刈り部隊は。

再答 農政課長 シルバ一人材センターの草刈り隊があります。草刈り隊の募集を見かけるが現在の

状況は。

再答 農政課長 高齢化で人数減、令和元年度18名。依頼は増えており対応に苦慮。

再問 草を抑制する方策は。

再答 農政課長 ヒメイワダレ草が水辺に適しており一部地域で使用している。但し、水に当たると成長が止まるが、畑地では伸び放題となる。

再問 他地区で増やしていくのに指導はしていたか。

再答 農政課長 多面的機能を活用し、苗及び種の購入は可能です。

再問 畦畔・傾斜地の草刈りは高齢化と共に苦痛になってきてい

る。傾斜地の枯れ草を

焼却できれば害虫駆除も出来、新芽の草は刈りやすい。地域別に予定を周知して焼却は可能か。

再答 農政課長 農業耕作上で、その行為がどうしても必要であると判断できれば、地域の同意を得る事を条件に可能である。

問 嵐山町の農業の活性化を進める上で除草管理について町長はどのように考えるか。

答 町長 まず、自分が行動をする。

そして周辺に声をかける。実際に交流センターの草刈りについて、職員・商工会・ライオンズクラブなどに



水路の草刈り＝R2.12.19

なった。

町でも積極的に指導に取り込むよう前向きに検討する。